



第6回新医師臨床研修指導医養成講習会修了

2月9日(土)～11日(月・祝)、鈴鹿サーキットフアーカーテンホテルにて「第6回MMC新医師臨床研修指導医養成講習会」を開催いたしました。初日から猛吹雪という悪天候に見舞われましたが、大きな混乱もなく41名の先生方に厚生労働省認定の修了証を発行することができました。



今回は6回目にして初めてMMCの病院以外の県外病院からも4名(愛知県/中部労災病院 3名、大阪府/東大阪生協病院 1名)の先生にご参加いただきました。本講習会はその名の通り「指導医を養成する」ことが第一の目的ではありますが、日常の診療を離れて普段とは違う課題に取り組み、病院や診療科の枠を超えた交流を図ることも重要な要素であるといえます。そういった意味において、他地域の先生方にご参加いただくことは大変有意義であり、県内の先生方にも大変刺激となったと思われます。

昨年末に厚生労働省より発表された医道審議会医師分科会医師臨床研修部会報告書(<http://www-bm.mhlw.go.jp/houdou/2007/12/d1/h1225-2a.pdf>)によると、「研修医の指導に当たっては、医学的知識・技術と併せ、教育方法についても習熟していることが望ましいとの観点から、一定の経過措置を設けた上で、原則として、指導医講習会を受講したことを指導医の要件とすべきと考える。」ことが明記されています。次回の開催についてはまだ未定ですが、この決定が明示されたことを受け、今後の講習会のあり方や運営・対応についてMMCの中でも充分検討しなければならないと考えています。

情報コーナー

☆MMC病院説明会

〈日時〉平成20年3月20日(木・祝)
 〈会場〉三重県総合文化センター
 ★三重県内の初期研修病院が合同で病院説明会を行います。三重県内で医師を志す方ならどなたでも参加できます。申し込み不要・入場無料ですのでお気軽にお越しください。

☆新研修医オリエンテーション

〈日時〉平成20年4月4日(金)
 〈会場〉三重大学三翠ホール
 〈講師〉西口 裕先生(三重県健康福祉部)
 河本慶子先生(関西医科大学)
 田中まゆみ先生(聖路加国際病院)
 遠見高雄先生(赤穂市民病院)
 辻本好子先生(NPO法人 ささえあい医療人権センター-COML)
 平成20年度採用研修医を対象としたオリエンテーションですが、ご興味のある方はどなたでもご参加いただけます。研修生活に密着した話題は勿論、「生命を輝かす」医療の話や患者様からの意見を基にした話などをご講演いただく予定にしております。お気軽にご来場下さい。

☆輸液セミナー

平成20年度も輸液セミナーを開催いたします。研修医以外の先生方や学生さんの参加も大歓迎です。
【詳しくは別紙チラシをご覧ください】

☆東海北陸地区

合同臨床研修病院説明会

〈日時〉平成20年5月11日(日)
 11:00～16:00
 〈会場〉名古屋国際会議場
 愛知県名古屋熱田区熱田西町1-1
 TEL 052-683-7711

ちょっと太り気味ドクターの ～スタンフォード旅行記～

第5回～Veterans affair hospital Palo Alto

今回は、Veterans affair hospital Palo Alto (以下、VA Hospital) について話をしよう。Veteransというのは退役軍人の事で、分かり易く言うと国の為に戦った人たちの医療を国として支えようという組織である。特徴としては米国の主要都市には必ずと言っていいほど設置され、その病院間の独自のネットワークをもっていることと、Palo AltoのVA Hospitalは、Stanford Universityの、卒前、卒後教育の主要な教育病院の一つとなっていることだ。Stanford大学キャンパスの裏手のブドウ畑の中にあり、海に面したハイウェイ沿いの静かで美しい建物の病院である。玄関ロビーには、ブッシュ大統領、ラムズフェルド国防長官の写真と、米軍の旗が掲げられており、軍の病院との印象を実感させる。病院内には、Stanford本院と同じ、診療チームがいっつもおり、実際のICUラウンドを見せていただいた。多くの医師がStanford本院よりも設備が充実していると言ったことが印象的であった。その充実の背景には、退役軍人の処遇をどうするかという政治的な意味と、Palo Altoが米国でも有数のハイパーな町、つまりニューヨーク等と並ぶ全米有数の高地価地域で、税収が潤沢にあることに関係しているようである。Palo Altoはシリコンバレーの中にあり、いわゆるIT長者(ビル・ゲイツやスティーブ・ジョブスなど)等のセブが多数在住しており、その後サブプライムローン問題でそのバブルが崩壊するなど、僕らは知る由もなかった。この病院のもう一つの特徴は、全米でもトップクラスの緩和ケア病棟があることである。緩和ケア病棟というと、癌患者やその疼痛管理を行っていることを想像されると思うが、COPDなどの良性？疾患も多く入院していた。世界的な緩和ケア病棟と言うことで、スタッフに普段から自分が思っている疑問を投げかけてみた。「自分も呼吸器内科医として、毎日のように患者さんの死に立ち会っていた時代がある。しかし、そんなことが繰り返していると、段々心が何も感じなくなりPlastickyになっていくのが分かった。この緩和ケア病棟では、医療者としてその様な自分にとどくように対峙しているのか？」その答えは意外なものだった。「君の言うことはよく分かる。おそらく答えはない。ただ答えではないが、少しでも心を楽にするものがあれば、それはさっさと見つけた。」自分に欠けているものが意外なところで見つかった。

第5回Advanced OSCE大会 開催

1年目の研修医が一年間で習得した知識や技能を競うAdvanced OSCE大会が3月8日(土)松阪中央総合病院にて開催されました。5回目となる今回は県内8病院から15名の研修医が出演し、20名の指導医の先生方にご協力をいただきました。

松阪中央総合病院が中心となって用意された5ステーションの課題の中には、研修医が一瞬戸惑うような難問もあり、会場では現場さながらの緊張感に包まれていました。

優勝したのは鈴鹿回生病院の岡田先生で、病院対抗の団体戦では県立総合医療センターが栄冠に輝きました。

第5回MMC Advanced OSCE大会 成績表

| 【個人の部】 | 氏名 | 病院名 | 得点 | 【団体の部】 | 得点 |
|-----------|--------------|------------|------|------------|-------|
| 最優秀研修医 | 岡田 真典 | 鈴鹿回生病院 | 93.0 | 県立総合医療センター | 178.0 |
| 優秀研修医(2位) | 駒田 哲哉 | 県立総合医療センター | 92.7 | 済生会松阪総合病院 | 168.7 |
| 優秀研修医(3位) | 小田 裕靖 | 済生会松阪総合病院 | 86.7 | 鈴鹿回生病院 | 168.3 |
| 【ベスト指導医】 | 富田 隆(鈴鹿回生病院) | | | | |



卒後臨床研修評価機構の認定～済生会松阪総合病院～

2月6日、済生会松阪総合病院はNPO法人卒後臨床研修評価機構(旧新医師臨床研修に関する研究会)の研修機能評価を受審し、3月1日付けで同機構による「認定証」の発行を受けました。同日までに認定証の発行を受けたのは全国で32病院しかなく、三重県では3番目の認定となります。認定件数では東京・大阪の各4施設に次ぐ件数(茨城・北海道も同件数)となり、全国的にみても三重県の卒後研修に対する取り組みは評価されつつあると考えます。今後は「認定証」がマッチングの選択に大きな影響を与えることも考えられ、良い弾みとなると思われます。

